

●京の七夕を実行する京都商工会議所から笹竹の注文が来ています。

今年吉祥院商店会（7月6日納品）と、京都錦市場商店街振興組合（7月28日納品）、そして丹波橋繁栄会（7月31日納品）、最後に新京極商店街振興組合とJR西日本京滋支社・京都水族館・梅小路ポルテ京都・ザ・ロイヤルパークホテル・京都鉄道博物館（8月4日納品予定）の笹竹納品で協力しています。今年納品日の変更が突然されたりして手配が大変でした。特に7月末から晴天続きで屋外の作業は熱中症の発症も相当厳しく報道されているので、竹の切り出し時間には苦勞をいただいています。7月28日には午前6時に草内倉庫に集合して木津川希少種植生調査管理業務の除草作業の計画していたところに、「26日に納品されると予定で工場の作業など用意していたが竹が届いていないので困っている。早急に手配をお願いしたい」とのことで、28日の木津川の除草が終了した後に、第2ラウンドの作業＝錦市場の注文品を切り出して届けていただくことになりました。とにかく屋外作業は危険な気温と警鐘が言われる中での緊急作業を行っていただきました。無事に届けましたとの森島さんからの電話でホッとしたものです。この日の早朝作業には森島さん、太田さん、播川さんによって行っていただきました。大変暑い気温の中頑張ってください本当にご苦勞様でした。引き続いて7月31日には丹波橋繁栄会への納品になっていまして、8時に太田さん、森島さん、大村さん、播川さんが集合して竹を切り出して納品いただきました。この日は朝8時には気温29度で昼前には33度を記録する猛暑日になっていました。暑い暑い中での作業本当にご苦勞様でした。

●週刊ニュースを発行してから9月28日に1000号の記念を迎えることになります。

どのようにして記念号を祝うのか頭を悩ましております。今提案があるのが800号記念の時のように文字入りボールペンがいいのではないかと案が出ております。創刊号のころの里山の会の財政力は非常に弱く、どこまで続けて発行ができるのかを心配しながらのことでした。郵送など毎号できる予算もないので、パソコン教室が終わったら帰り道にわかっている会員宅だけでも手配りで届けましょうとなって、その伝統が今日まで引き継がれてきています。そしてメールがあるお宅にはメールで、FAXのあるお宅にはFAXでの送付が利用されるようになりました。ところがFAXでの送付が続きますとインクと用紙の負担が大変だとのことで送付をお断りになることも続出し不都合が続きました。会誌である“里山の自然”は年2回発行で郵送にて送らせて頂いているのですが、手の届くところへの戸別配達皆さんが相当頑張ってください今日まで継続されてきています。こうした苦心と努力が継続されて1000号発行を目前に迎えることが出来たのです。この事を先日KBS京都ラジオでの生放送でお話をしたら、司会者の笑福亭晃瓶さんが大変驚いておられました。

受け止めてくれる皆さんが沢山おられて、そして個別配達続けていただく仲間が沢山おられて、こんな素晴らしい成果を収められることにふさわしい記念品のご提案をいただければ大変ありがたいと思います。

●今年の通常総会での決定にスタッフの負担改善が強調され、暑さ対策から、夏休みで子どもたちに一番人気のある魚とりは実行できなくなりました。それでも一部スタッフの方々には、財政確保のための負担が重くかぶさってきています。里山の会はどなたでも参加いただけるように参加費無料を一貫して貫いてきました。けれど、体力の後退老齢化は避けられずこの原点も貫けなくなり、有料化（準備後始末の経費確保）も止む無しとなっていくのではなかろうかと心配しています。会員の皆様やご友人の中で有志のお方がおられましたらぜひ名乗り出てくださいませんか。また

「自然を大切に作る仲間の輪を大きくする」スローガンに賛同いただける会員様を求めています。あなたのお隣におられるお友達に支援のお声をおかけ下さるようお願いいたします。

●**里山の会は活動を始めて 25 年を迎えています。**この間みんなで考え合って、暗中模索の中から里山農園や木津川での活動を広げてきまして、年間決算では 1400 万円の決算までこぎつけることができるようになりました。しかし、高齢化と体力減退によってこれまで通りの活動は不可能になりつつあります。これまで活動をご指導いただいた先生方はまだまだ健在です。指導者には事欠かないと思います。それなら応援しようとして受け止めていただいてご加入をお願いします。みんなで**楽しい活動（受け身型）**から、**楽しくする活動（参加型）**へ進みましょう。そして、**楽しくさせる活動（主催者型）**にご躍進してください。お待ちしております。

●**菱田浜でのオオムラサキの捕獲を目指して**バタフライトラップを 7 個も仕掛けていただきましたが、ゴマダラチョウがすごく集まってきていること、そして甲虫類が頻繁に見つかることが判明しました。そして巨大な榎（直径が 1m 以上のもの）が 20 本も群生している国蝶オオムラサキの生息環境が維持されている所であることがわかりました。木津川の中でこれだけの条件を備えている場所はないと思われます。大切に維持されるようにしてゆかねばならないところでしょう。トラップを 7 月 7 日に設置して 6 回目の 8 月 1 日に撤収をしました。来年は取り組み始める時期をもう少し早めることでオオムラサキの確認が可能になるかもしれません。

●**昨日の新聞に今年の 7 月の気温が観測史上最高温度を記録したとありました。**19 世紀の初め頃から記録を取り始めてのことだそうです。これまでは 1978 年が最高温度だったそうですから 45 年ぶりのことと報道されていました。また熱中症で搬送されたのは 33,000 人で、住宅から搬送された方のうち 9 割が入院となっております。8 月の気温は年中で最も高くなるそうですから、お互いに更に気をつけてゆきましょうね。

●**第 26 回里山講演会を開催いたします 皆様のご参加を呼び掛けております。**

メールでの申し込みをお忘れなく。4 月に府市協調して生物多様性センターが発足いたしました。今回お話しいただく湯本貴和先生は、そのセンター長に就任されておられます。優しくお話しただけだと思いますので沢山のご出席をお願いしています。湯本先生は日本生態学会の会長もお勤めになってこられて大変お忙しい中ご都合をつけていただきました。こうした機会は中々作れるものではありませんので、多くのご参加下さるようにお知らせいたします。早めの予約出席の手続きをお願いいたします。つくばね飛ばしや 1 分間も回るコマもお土産に差し上げようと頑張っています。

いきものはいろいろ ねったいうりん **熱帯雨林から考える**

9 月 2 日(土)13:00~16:30 入場12:00~

お話 たかかず **ゆもと貴和さん** (日本生態学会前会長 京都大学名誉教授)

生き物がいちばん多く 多様性にとんでいる熱帯雨林を研究してこられた

ゆもとの話をきいてみませんか きくだけで ワクワクしますよ

子ども参加 熱帯雨林をどぶフタバガキの種づくり(モデル) **ぼれぼれらんど**の歌 こどもの発表会(3 本) コマ回し

参加申し込み やましろ里山の会 HP より  参加費 無料

申込時に 質問もおよせください

子ども・大人 合わせて 300 名 (先着順)

場所 京田辺市中部住民センター せせらぎ (京田辺市草内美泥 22-2) 駐車場 せせらぎ はるか DCm (HP で確認)

主催 やましろ里山の会 共催 ぼれぼれらんど 後援 京田辺市教育委員会

